



Ing

Asai Hospital

No.50

2015.9.11 (Fri)



「さあーて、今週のIngは・・・」

身障リハ科
in 地域包括ケア



体操の前のトイレタイム。



皆さん、頑張っていますね！



歩ける方は、歩いて会場へ。

まずは・・・「集団体操♪」



9月9日は、「カーネル
サンダーズのケンタッキ
ーの日です」

...

...



患者さん、始めのうちは少々緊張気味？！

毎週水曜日11時から約15分間、「集団体操」が行われています。まずは、ST佐瀬さんのMCCからスタート！続いて、PT桑原さんが輪の中心へ。「幸せなら手をたたこう♪」を歌いながら、手、足、肩、背伸びへ・・・と変化させリズムカルに体操を進めます。
この頃には、患者さんにも笑顔が見られ始めました。途中、患者さんのリクエストで「ふるさと」を合唱したり、患者さんからも「楽しい！」の声が聞かれました。



ぼーくん
レポーター

スタートから早2ヶ月。地域包括ケア病棟で活躍する身障リハ科の活動を紹介します。
今週号のIngでは、「動きのある地域包括ケア病棟」を提唱している身障リハ科。PT・OT・ST... 専門性を生かしたそれぞれのかかわり取材しました。



すてきな笑顔です・・・。



皆さん、リズム♪にのって、手足を動かしていました。楽しそう！！

■■嚥下リハビリのすすめ方(基本)■■

- ①. 頸部リラクゼーション、ストレッチ
- ②. 口腔ケア(自分で口ゆすぎができない方)
- ③. 口腔器官運動(「パ」、「タ」、「カ」、「ラ」)
⇒舌の動きを意識して、はっきり、ゆっくり
- ④. 寒冷刺激法
⇒冷たい刺激を口の中へ入れることで、
嚥下反射を誘発させる。
- ⑤. シャキア法(頭部挙上訓練)

当院では、④の「寒冷刺激法」の方法で、ひと工夫しているとの事。一般的には、冷やした綿棒を口腔内へというものですが、それでは少し味気ないので、少量のカルピスをシャーベット状にして、食べていただいています。リハビリ後の「お楽しみ」にしている患者さんもいるそうです



ぼーくん
レポーター



さすが、
佐瀬ST!



患者さんと楽しく会話をしながら、リラックスしてリハビリ開始です。

滑舌が上手いかなかった箇所は、一読してからもう一度挑戦します。(写真は構音訓練の様子)

80歳代男性。ベッドサイドの壁に、飾られている三枚の車の写真。これは、患者さんの心へ近づける大切な写真なのだそうです。

〇T 齊藤さんが担当となり、「コミュニケーションのきっかけを探していた時の事。患者さんより、「マルハン」、「水色」、「オート三輪」という単語がたびたび聞かれ、何の事かと調べていくと、「マルハン」は「丸いハンドル」という事がわかってきた。家族のためにと一生懸命働いていたあの時代。愛用していた「水色のオート三輪」現在は、発語が乏しくなってしまう患者さんですが、愛車の話になると単語を並べ、話をしてくれるとの事。リハスタッフ間でも共有し、患者さんとのコミュニケーションが途切れぬよう心がけている。

また、文字を書く事が好きな女性の患者さん。毎日、筆ペンでびっしりと書かれた便箋をみて、絵画を勧めてみた。「水墨画をやってみよう」との反応があり作業療法スタート。壁に飾られている写真は、その素敵な作品である。

「患者さんとの何気ない会話を大切に、患者さんが自らの役割を見つけ、自信をもつて生活習慣を送ってほしい」と語り下さいました。



齊藤OT

そして、「作業療法」は、4月入職の齊藤〇Tと、先輩宮田〇Tにお話しを伺いました。



たくさんの荷物を運んだな仕事ですいらん昔話になったよ



自分とできると思ってもおぼろげな始めた夢中でした

これからも、ぼーくんレポーターは色々な場所での潜入レポートを計画中。是非うちの部署へという所は内線1505へ。ご連絡待ってます!!



ぼーくん
レポーター